

2022年度 第5回香川県社保協運営委員会【報告】

■日時 2023年3月15日(水) 11:00~12:00

■場所 県連会議室

■出席 奥谷(民医連)、篠崎・濱(保険医協会)、明珍(香商連)、酒井(自治労連)、小池(医生協)、花谷(民医労)、篠田(年金者組合)、藤澤(県労連)、長町・近藤(香保連)、渡辺(きょうされんzoom)、土岐(共産党)、辻井(オブ高運連)、増田(みみの会)
: 囲みの方 出席。

※年金者組合~次回から参加者変更相談

■中央社保協 ブロック会議 情勢資料より

この春「大軍拡より社会保障」を合言葉に、
いのち、暮らし、社会保障拡充のたたかいに決起を

■各団体の活動交流の中で情勢と課題の認識を深めましょう。

- (民医連・医療生協) 統一地方選挙方針 軍拡 大増税よりくらし
平病でコロナ受入れ病床の準備が求められたが、病床確保料は引き下げ。
- (保険医協会) 高校生までの子ども医療費無料化を求める県民ネットワーク
75歳窓口負担2倍化アンケート結果163件をもとに記者会見予定。
該当者の15%で受診抑制、貯金取り崩し、食費削るなどの訴えあり。
- (県商連) 「国保提言2022」を発行しコロナ禍でも前進した運動の経験など整理。
インボイスは3月末登録切が9月末へ延長。軍拡増税に繋げる狙い。
与党税調で「税務相談停止命令」の検討。税理士に相談しているのは全体の5%にしかすぎない
軍拡を進めるためには増税は不可避の中で大軍拡・大増税と軌を一にする。
税金の使い方に物申す民商、農民連、生健会など税の相談にのると罪に。
「税務相談緊急署名」に取り組んでいる
- (県労連)
(自治労連)
(香保連) 県選出国会議員交渉や懇談を実施した。どこも歓迎をされた。
会計年度任用職員の期限
保育署名は2月末で終了。保育現場の様座な事件などもあり注目はされており、一定の前進もあるが、「こどもの人数ふやせば保育士ふやす」には問題点もある。

■協議事項

1. 2022年度自治体キャラバンについて 7市8町で実施

※中間振り返り

- ・日程表 参加者表は添付のとおり 参加延べ数は164名 観音寺が実施できなかった
- ・2月議会前の実施となった。予算編成に間に合うタイミングが望ましい。
- ・地元参加者で司会等運営できるところはそうのようにしていった方がよい。
- ・細かな数字や未記載箇所の指摘などは即答しにくいので後日文書回答でお願いした。
- ・質問なのか、要望なのか、現状を聞いてほしいのか 明確にして発言したのはよかった。
- ・陳情の内容で意見書を出してもらうような場合は ひな形を準備して添付した方がよい
- ・介護保険の要介護認定の各段階ごとの割合をだす項目のアンケート追加の希望あり。
- ・5類引き下げで危惧される点を全自治体で話したが、現時点では国の指針がでていないため医師会など関係団体との調整や補助金の継続、患者自己負担への対応なども全く未定だが、危惧される点については理解できるとの反応。

★最終まとめ

2. 2023年春 運動の課題

(1)大軍拡より社会保障の拡充を求めるたたかい

- ①「大軍拡より社会保障の拡充を」100万筆署名の推進
- ②全国での大規模宣伝行動の推進
- ③国会を包囲するたたかいと共同行動の推進

(2)これ以上の国民負担増を許さない 通常国会のたたかい

- ①介護制度大改悪を断念に追い込むたたかいの前進
- ②医療制度改悪阻止と制度改善運動の推進(75歳医療、こども医療費、国保)
- ③健康保険証廃止の中止を求めるたたかい
- ④コロナ禍を克服し、医療・公衆衛生体制の拡充を求めるたたかい

(3)地域から要求前進を、統一地方選挙に向けたたたかい

(4)すべての地域に社保協を、学習運動の強化と地域社保協の結成・強化

★医団連団体署名運動について ⇒社保協で取り組む。

★いのちと暮らしを守る なんでも相談会について

⇒「あすなろの会」に確認し会場など決め、公営住宅へのポイントビラやマスコミ宣伝

■その他 四国ブロック会議 3月27日(月)15時半～

■3/27(月) 第193回朝宣伝 資材⇒「保険でよりよい歯科医療の実現」800セット

<担当>コトデン瓦町駅(500):民医連(奥谷)・保険医協会(篠崎)、県労連()、
JR屋島駅&屋島総合病院(150):自治労連(酒井)
JR丸亀駅(50):新婦人など…(近石)
琴電栗林駅(100):民医労(3名)

■次回運営委員会 2023年4月19日(水) 11:00～12:30 comcom 第1 にて

高校生医療費無料化ネット通信（2023年3月13日号）

高松市が高校生まで医療費無料実施を表明



岡田 まなみ

11時間前 · 🌐

...

3月定例高松市議会！私の質疑に答え、大西市長が「医療費助成を高校卒業まで拡充・8月実施に向け検討」と表明 🍀

3月10日、3月当初予算案に関する質疑を行いました。市民の皆さん・党県議団とも力を合わせて取り組んできた高校卒業まで医療費無料化について市長は「先月県が拡充する方向性を示し、一定の財源が、確保できる見通しとなったことから、医療費助成の対象を高校卒業まで拡充、今年8月からの実施に向け検討！」と答弁しました。🍀

学校給食費の無償化については残念ながら、継続出来ませんでした。引き続き署名を集めて頑張ります。🍀



岡田まなみさん Facebook 記事より

高校生まで医療費無料が香川県の全自治体で実施！

県内市町の高校生まで医療費無料化の動向

	既に実施（表明）	新たに実施表明	備考		既に実施（表明）	新たに実施表明
高松市		1	2023年度 8月	土庄町	1	
丸亀市		1		小豆島町	1	
坂出市		1	2023年度中	三木町		1
善通寺市	1			直島町	1	
観音寺市		1		宇多津町		1
さぬき市		1		綾川町	1	
東かがわ市		1		琴平町	1	
三豊市		1		多度津町		1
				まんのう町		1

次回運営委員会(WEB 併用)

3月23日(木)13:30～

場所：保険医協会2階（201号室）

WEB：ミーティング ID: 876 3517 2045

パスワード: 049571



子育て支援強化相次ぐ 県と17市町の新年 度予算案【詳しく】

03月03日 12時16分



香川県内では、県と17の市と町すべてで、新年度・令和5年度の予算案がまとまりました。今回の予算案の特徴のひとつが子育て支援で、医療費や給食費といった経済的支援のほか、民間とも連携した子どもの居場所づくりなど、自治体独自のユニークな取り組みも盛り込まれました。

去年、生まれた子どもの数が、国の統計開始以来、初めて80万人を下回るなか、香川県でも、去年1年間に生まれた子どもの数は5884人と、昭和29年に統計を取り始めて以降、初めて6000人を割って過去最少となりました。

こうした状況を踏まえ、香川県は、新年度・令和5年度の予算案では、◇子育て世帯の経済的負担の軽減や、◇子育て中の女性の働き方支援などを柱としたこども・子育て支援に、前年度の倍近くに当たる18億3700万円あまりを計上しています。

また、県内の17の市町でも、それぞれ対策に乗り出しています。

◇子どもの医療費無料化では、これまで中学3年生までを対象としていた11市町のうち、10市町が、対象を高校3年生までに拡大する方針です。

（10市町：丸亀市・坂出市（今年度補正予算案での計上）・観音寺市・三豊市・東かがわ市・さぬき市・宇多津町・多度津町・三木町・まんのう町）。

※高松市が実施を表明したことで、県内の全自治体が実施の見通し

[発行]高校生まで医療費無料化を求める香川県民ネットワーク事務局(香川県保険医協会)

担当:浜 電話 087-802-1335 メール hama@kagawahik.com